宮城県で初の『ZEB』による木造新社屋(事業所)が 2023年1月完成予定

宮城県初となる CLT 材を活用した『ZEB』の実現を目指した建物です。CLT 材は床・屋根に使用し、柱・梁材には地元宮城県石巻の県産材を使用します。

また、仙台市地域防災計画に基づく避難・医療救護等を行える民間防災拠点として仙台市に届け出を行っていて、災害時に地域住民を受け入れることのできる施設として重要な役割を担っています。災害応急用井戸も備えていて災害時のライフライン遮断時も万全です。

建物負荷を抑制、かつ地中熱を有効利用した輻射式冷暖房システムで地球や人にやさしい建物となるよう鋭意建設を進めています。

建設概要は以下のとおりです。

◆ 工事名称 : 東北ボーリング本社 新築工事

◆ 建築主 : 東北ボーリング株式会社 代表取締役社長 熊谷茂一

◆ 主要用途 : 事務所

◆ 工期 : 2022年6月17日~2023年1月20日

◆ 工事場所 : 仙台市若林区六丁目字南 1 2

(仙台市六町の目元町・六丁目土地区画整理事業 地内)

◆ 構造・規模

事務所棟 : 木造2階建て 床面積 677.00 ㎡ ※CLT採用建物

倉庫棟 : 木造2階建て 床面積 199.98 ㎡

サービスヤード等 : アルミニウム合金造 床面積 87.17 ㎡

• 延床面積 : 964.15 m²

◆ 『ZEB』指導

みやぎ ZEB 研究会 主宰

東北大学 大学院環境科学研究科 土屋範芳 教授

◆ 設計 : 有限会社ササキ設計

◆ 施工 ・建築 : 株式会社サンホーム

・機械設備・電気設備 : エルゴテック株式会社・地中熱設備 : 株式会社アリガプランニング

◆ 本件に関するお問い合わせ先

東北ボーリング株式会社 事業企画部長 菊地 真

TEL: 022-288-0321 (代)



完成予想図(外観)



完成予想図 (室内)